

令和7年度第1回若葉区支えあいのまち推進協議会

議事要旨

1 日 時 令和7年7月7日（月）10時00分～12時00分

2 場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室

3 出席者 委員 23名（欠席委員数 9名）

傍聴人 0名、事務局 8名

4 議 題

（1） 新委員及び新役員の選任について

（2） 令和6年度取組状況調査について

（3） 令和7年度のスケジュール及び議事内容等について

5 事例紹介 「生活支援コーディネーターの活動について」

6 議事経過

- ・委員定数32名のうち9名の欠席を確認して開会した。
- ・開会にあたり区長より挨拶をおこなった。
- ・区長挨拶の後、事務局職員の紹介を行った。事務局より会議の公開について説明があり、あわせて会議録や広報誌作成のため写真撮影、録音を行うことについて了承を得た。

議題（1）新委員及び新役員の選任について

事務局の若葉区高齢障害支援課海老原主査より新役員の紹介、今年度の協議会の運営、開催予定についての説明があった。

議題（2）令和6年度取組状況調査について（資料2）

若葉区高齢障害支援課海老原主査より令和6年度の取組状況の調査についての説明があり、続いて千葉市社会福祉協議会若葉区事務所石毛副所長から調査方法についての説明があった。

○事務局 石毛副所長

総会資料を基に実績を事務局で入力し、各地区部会に送付するので、加除修正していただいたものを返送していただきたい。返送いただいたものを事務局でとりまとめ総括表に落とし込む作業をする。近々に送付し、8月中旬ぐらいまでに返送いただくスケジュールで考

えている。

○駒野委員長

四期までは実績も各地区で行っていたが、今回からは各地区で行っている総会の事業報告を事務局で精査し、まとめ、各地区部会に照会する形となる。

○津田委員

自分の組織が高齢化し、担い手が減ってきている。そういったことを防ぐためにどうしたらいいかという観点で各地区の個票を見ている。参考になるので、実績のところはどうやったろうまくいったのか、なぜ未達だったのかを書いてほしい。

議題（３）令和７年度のスケジュール及び議事内容等について（資料３）

若葉区高齢障害支援課海老原主査より令和７年度のスケジュール及び議事内容について説明があった。その後、質疑応答及び意見交換を行った。

○石橋委員

地域資源マップをもう少し具体的に教えてほしい。

⇒（事務局）

２月に実施した千葉大学の関谷先生の講演の中で、他自治体で地域資源を１枚のマップにまとめたものを紹介していた。マップを見ると、どこの地区で何の活動ができていいのか分かるものだった。そのようなものを各地区部会エリアで１枚作ればいいのかと思っているが、まだイメージの段階でマップの作り方を協議会でグループワークやワークショップをしたうえで、どのようなマップを作製していくのかを協議会の中で考えていきたいと思っている。

事例紹介 「生活支援コーディネーター（ＳＣ）の活動について」（資料４）

（千葉市生活支援コーディネーター）佐藤委員より、生活支援コーディネーターの活動について紹介がある。質疑応答に移るも、発言はなかった。

報告事項（１）推進協だより「しあわせのまち若葉（第２９号）」の発行について（資料５）

若葉区高齢障害支援課海老原主査より印刷業者に発注している段階で、今月末には配布ができる予定となっていること、今回、障害者の自立支援も考え、障害者の就労施設に印刷を発注したこと、区内の市民センター等の公共施設に配架をし、自治会等にも順次配布していく予定であることの説明があった。

報告事項（２）令和６年度講演会開催報告について

若葉区高齢障害支援課海老原主査より令和７年度のスケジュール及び議事内容について説明があった。

○津田委員

講演会の中でグリスロの話があった。結・みつわ台の地区部会にもグリスロの紹介があったが、運営主体は誰になるのかという話があった。あんしんケアセンターが主体となって先日実施した地域ケア会議の議題になったのがエレベーターのない団地の問題だったが、その時も昇降機の管理を誰が管理するのかという話があがり、あんしんケアセンターで運営をしてくれたらという意見が出た。運営主体をしっかりと作らないと難しいのではないかと思っているが、さくらまるはうまく運営していると聞いている。どういったステップを踏んで構築されたのかというのが参考になるので話を聞きたい。

住民に個別に話を聞くとグリスロが走ってくれるとありがたいという意見がある。行政が間に入り、ニーズがあるか地域のアンケートから始めたらどうか。近隣の始めている地区と協力する、既にあるものを活用してどうやって発展させていくかということも必要なので、管轄しているのが行政ならば、うまくいっている自治体と連携・情報共有しながら発展させていきたい。

⇒（駒野委員長）

移動手段をどうするのかということは高齢化に伴い問題になってきている。今回提案のあった地域資源をまとめていこうという部分で皆さんと一緒に考えていければいいのではないかな。

<その他の連絡等>

○事務局

次回、第二回推進協議会は11月の開催を予定。開催日は、後日、事務局から連絡することとした。

若葉保健福祉センター所長から挨拶を行った。

駒野委員長が閉会挨拶をして終了とした。